



電子版はこちら

パブリック・コメント

市民意見募集

京都市 みどりの 基本計画 2026 (案)



「京都市みどりの基本計画」は、京都市のみどりに関する理念や方針等を定める計画です。

現行の計画は2025年で満了するため、
次期計画案を取りまとめましたので、みなさまからのご意見を募集します。

一行のご意見・ご感想からでも
お待ちしております

意見の送付方法は最終ページをご覧ください >>>

はじめに

京都の美しいみどりを愛するみなさまと共に
みどりの魅力や展望を共有して未来に向かう
そんな思いから、本計画を策定しました

目次

写真・図・絵画を効果的に使い、より多くの方々に
興味や理解、共感を持って読み進めていただけるような誌面に
(写真は主に職員自ら撮影したものを使用)

<前半> みどりの魅力とは

京都の豊かなみどりの魅力や
在り方を伝えます

第1章 理念

本冊子p3

京都が目指すみどりの姿

「京都ならではの」「みどりならではの」の理念を掲げます

「山紫水明に息づく文化とともに 彩りあふれる千年先の京都へ」



第2章 みどりの魅力

本冊子p4

京都のまちやくらしに息づく色々なみどり
その一つ一つの魅力を伝えます



第3章 みどりの展望

本冊子p5

魅力あるみどりがいかに広がりつながっているのか
そこから見据えるみどりの展望を伝えます

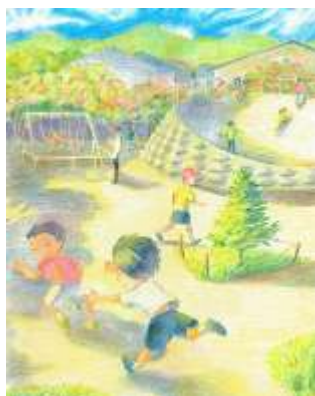
京都市立芸術大学出身の画家7名が描いた
みどりの「将来の姿」



将来の姿
(人を惹きつける魅力的なみどり)



将来の姿
(癒しや憩いの場となるみどり)



将来の姿
(育みや学びの場となるみどり)



将来の姿
(京都が誇る造園力で美しく設えられたみどり)

<後半> 未来に向けて

みどりの未来と理念の実現に向けたアプローチや

みどりの取組を示します

第4章 一人ひとりにできること

本冊子p5

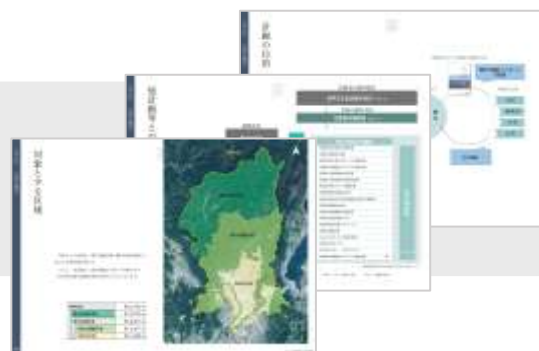
みどりの未来に向けて、私たち一人ひとりにできることは
京都市から京都に関わるみなさまへのメッセージを届けます



第5章 計画の概要

本冊子p6-8

理念の実現に向かってどのように進んでいくのか
計画の概要を示します



第6章 方針・施策の方向性

本冊子p8

計画の理念の実現に向けたアプローチ、
方針と施策の方向性を示します



第7章 みどりの取組

本冊子p9-10

京都市のみどりの取組と京都に関わるみなさまに向けた
「おすすめACTION」を伝えます



| おすすめ ACTION | (例)

- ✓ 公園で地域の交流イベントを開く
- ✓ 散歩しながら四季の花を愛でる
- ✓ 自宅や店舗の敷地にみどりを増やす

「みどり」について

ひらがなの「みどり」という言葉には、物質的な「緑」に加えて、多様な価値（幸福感や癒し等）を含めています。本計画上では、「みどり」を以下の24カテゴリーに分けて説明しています。

山／丘／竹林／草地（自然のみどり）

林業地／農地（営みのみどり）

川／池／疏水（水辺のみどり）

公園／街路樹／雨庭／校庭（身近のみどり）

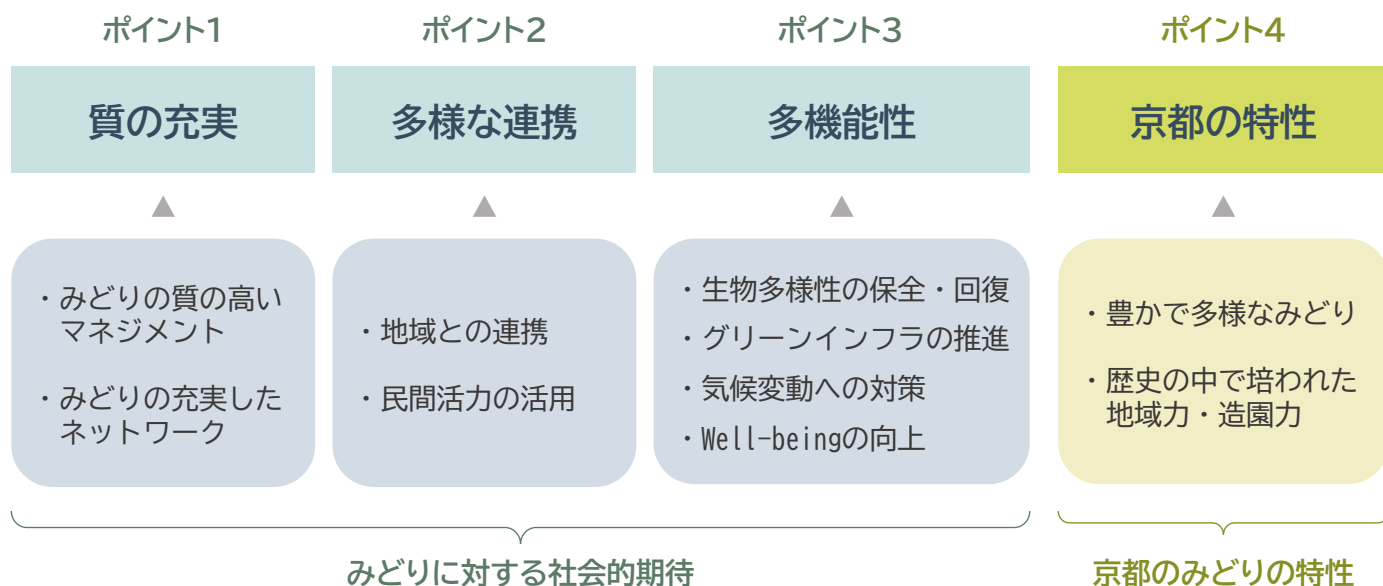
庭園／坪庭／社寺林／名木（文化的のみどり）

植物園／御苑／御所／離宮／陵墓（特徴的なみどり）

建物の緑化／敷地の緑化（緑化のみどり）

計画のポイント

現行計画の策定（2010年）以降、みどりに対する社会的期待が広がってきました。
これらに京都の特性を加えた4つのポイントを、本計画の随所に反映しています。



各章の内容

第1章 理念

本編p4-5

山紫水明に息づく文化とともに 彩りあふれる千年先の京都へ

三山や鴨川の水の美しさ等、京都ならではの豊かな自然環境を形容することば

みどりの美しさと人の営みから生まれる賑わいや魅力

長い歴史の中で、豊かなみどりを基盤として紡がれた人の営み

「千年の都」と呼ばれる都市として、悠久の歴史を継承・創造していく



第2章 みどりの魅力

本編p6-30

本計画では24のみどりのカテゴリーごとに記載しており、
以下はその一部の抜粋です

自然のみどり

山 京都盆地を囲む三山——東山、北山、西山
山並みの美しい眺めは、京都が誇る
山紫水明の風景であり、まちを包む壮大なみどり
歴史や文化に深く関わり、多くの生きもののすみかにもなる

営みのみどり

農地 米や京野菜が育まれ、
農業体験や食育にもつながる場所——農地
市街地の南部や山すそを中心に広がるみどり
大地の恵みをもたらす農地は、どこか懐かしく、
都市の環境だけでなく、心と体の健康をつくる

水辺のみどり

川 京都を代表する三川——鴨川、桂川、宇治川
山紫水明と讃えられる京都独自の風情をつくり出すみどり
京都には多くの川が流れ、くらしや文化、
憩いや癒しとも深く結びついている

身近なみどり

公園 くらしに身近な緑地——公園
1,000箇所近くに及ぶ、色々な表情を持つみどり
広大な自然をたたえる宝が池公園、
歴史をまとめて佇む円山公園、
大勢の人々の賑わいの中の岡崎公園や梅小路公園、
そして日々のくらしに溶け込む近所の公園など
身近で多様な公園は、子どもからお年寄りまでが遊び憩う、
人々の居場所となる

文化的なみどり

庭園 自然と調和した魅力溢れる空間——庭園
国指定の特別名勝から個人邸の庭まで、
京都には世界屈指の庭園文化が花開く
国内外の人を魅了し続ける美しさは芸術の域に達する一方、
癒しのみどりとしてくらしに根付いている

緑化のみどり

敷地の緑化 所有する敷地の一部を芝生や木立、庭園、
森として活かす緑化——敷地の緑化
住まい、公共施設、企業の事業地や
工場などの一角に設えられたみどり
生み出された貴重なみどりは、
まちの美しい風情の一部となっている



山



農地



川



公園



庭園



敷地の緑化

第3章 みどりの展望

本編p31-55

ちょうかんず

鳥瞰図 全2スケール

空中写真をもとに、京都の主なみどりを描いた図
山紫水明と讃えられる京都のみどり全体の骨格や
豊かさを立体的に示している



鳥瞰図

現況図 全4パターン

どのようなみどりがどれくらいあるのかを描いた図
京都のみどりが、まちやくらしをいかに良くしているか、
いかに大切なのかを示している



現況図

将来の姿 全16テーマ

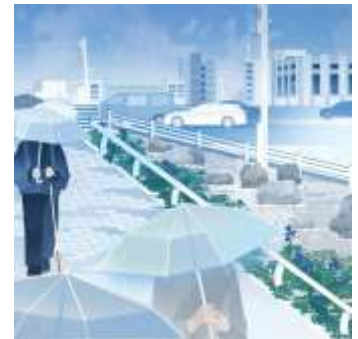
「このまま続いてほしい」「こんな未来になってほしい」
そんなみどりの在り方を描いた絵画
京都のみどりの展望の、具体的なイメージを示している



将来の姿
(山紫水明の豊かなみどり)



将来の姿
(くらしの中の文化薫るみどり)



将来の姿
(安心安全なくらしを支えるみどり)

第4章 一人ひとりにできること

本編 p56-57

I くらしにみどりを

京都の豊かで魅力あるみどりを
ぜひ日々のくらしの中で身近に感じてみてください
—— あなたのくらしの彩りが増します

II みどりとふれあう

みどりを「感じる」からみどりと「ふれあう」へ
色々なみどりを巡ったり、楽しんでください
—— 一人ひとりの行動がみどりを大切にする文化につながっていきます

III みどりの未来のために

京都を愛する先人たちが守り育てたみどりを、
未来に受け継いでいく取組にご参加ください
—— 彩りあふれる京都の未来が紡がれていきます



第5章 計画の概要

本編p58-72

計画の基本情報

- ・ 根拠法令 … 都市緑地法
- ・ 計画の目的 … 京都のあらゆるみどりの保全と緑化の推進
- ・ 計画の期間 … 2026年から10年間
- ・ 対象とする区域 … 市域全域
- ・ 対象とするみどり … あらゆるみどり（面積の大小、公有・民有を問わない）

他計画等との連携

本計画は、「世界文化自由都市宣言」や「京都基本構想」を反映した内容です。
また、文化や農林などの他の分野別計画等とも連携していきます。

みどりのはたらき

みどりには、まちや暮らしに与える様々なはたらきがあります。
本計画で京都市が抽出した14のはたらきを示しています。

- | | | |
|----------|--------|----------------------|
| ①自然基盤 | ②大気・水質 | ③CO ₂ 吸収源 |
| ④生物生息空間 | ⑤歴史・文化 | ⑥景観・風情 |
| ⑦経済・活力 | ⑧営み・生業 | ⑨防災・減災 |
| ⑩暑さ緩和 | ⑪癒し・憩い | ⑫居場所・交流 |
| ⑬遊び・スポーツ | ⑭学び・育み | |



計画案の表紙



CO₂吸収源



歴史・文化



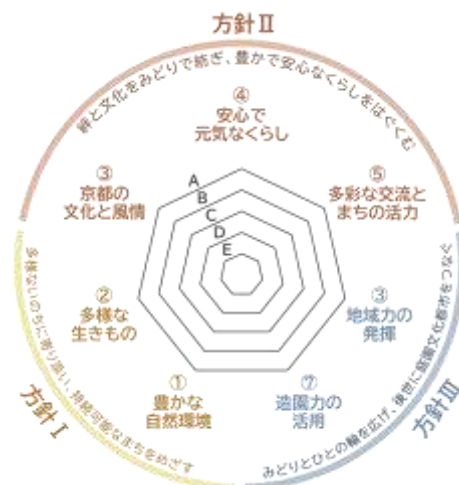
暑さ緩和



居場所・交流

モニタリング・目標

- ・ 方針や施策の方向性に基づく様々な取組を、京都に関わる方々や行政が連携して実施することで、理念の実現を目指します。
- ・ 計画のモニタリングは、レーダーチャートによる多角的かつ視覚的な手法を用いることとし、緑被率等についても継続的な調査を行います。
- ・ レーダーチャートによる総合評価は、京都のまちとくらしの特性やみどりの多機能性、市民の実感や施策の成果により重点を置き、市民と行政の視点から調査します（市民アンケート及び庁内ヒアリング）。
- ・ モニタリングでは定期的な調査を行い、その結果については、京都市都市緑化審議会において報告し、審議いただくことで、計画的な推進を図ります。



レーダーチャート

みどりの配置方針－みどりのネットワーク－

無秩序にみどりを配置するのではなく、社会のニーズや地域の特性に合わせて、ふさわしい場所にふさわしいみどりを配置する必要があります。






本市では、配置方針として「みどりのネットワーク」*を掲げ、その充実を図るうえで重点を置く6つの視点を示します。

* 個々のみどりが孤立して存在するのではなく、互いにつながりながら広がっているもの



みどりの配置方針図

みどりのネットワークの構成要素と維持・充実の方向性

ネットワークの要素	維持・充実の方向性
 輪のみどり 山、農地	今後も法的な規制による保全を継続しつつ、みどりの質の充実に取り組みます。
 縁のみどり 山並みと市街地の境界 (山すそ)	今後もこのエリアに多く残る農地や社寺の庭園といった文化的なみどりの保全と質の充実に取り組みます。
 拠点のみどり 点在する 一定規模以上のみどり	今後も保全と質の充実に取り組みます。
 軸のみどり 川、街路樹等	今後も保全に取り組むとともに、質の充実についてもより重点を置いて取り組みます。
 点のみどり 点在する小規模な緑地、 農地等	公有地だけでなく、民有地も多く含まれるため、市民、事業者、大学、行政等、多様な主体の協力のもと、今後も保全と質の充実に取り組みます。

視点1 緑化重点地区

緑化重点地区*として市街化区域全域を指定しています。今後もこの地区を中心に緑化の推進に取り組みます。

* 都市緑地法に基づき、「重点的に緑化の推進に取り組む地区」として、各自治体が緑の基本計画において定めるもの

視点2 みどりの量と質

本市では、みどりの量の指標として緑被率の定期的な調査を行っており、市街地の緑被率は約36%となっています。また、みどりの質については、人口減少社会や成熟した土地利用を背景に、みどりの多機能性を発揮させるため、質の充実に対する期待が高まっています。本市では今後も緑被率の維持・向上に取り組むとともに、みどりの質の充実により重点を置いた取組を進め、みどりの様々なたらきを適正なバランスのもと最大化することを目指します。

視点3 グリーンインフラ

暑熱環境の緩和、大雨等による災害の予防をはじめ、様々な社会問題の解決に向けて、京都で培われてきた技術や学識、地域力と連携し、京都らしいグリーンインフラづくりに取り組みます。



視点4 生物多様性

生きもののすみかや、そのみどりをつなぐ通り道がつながり広がるよう、生物多様性の保全・回復に貢献するみどりの充実に取り組みます。

視点5 民有地緑化

積極的な民有地緑化に努めるとともに、京都の風情や周辺の環境に調和した質の高いみどりの創出にも取り組みます。



視点6 公園

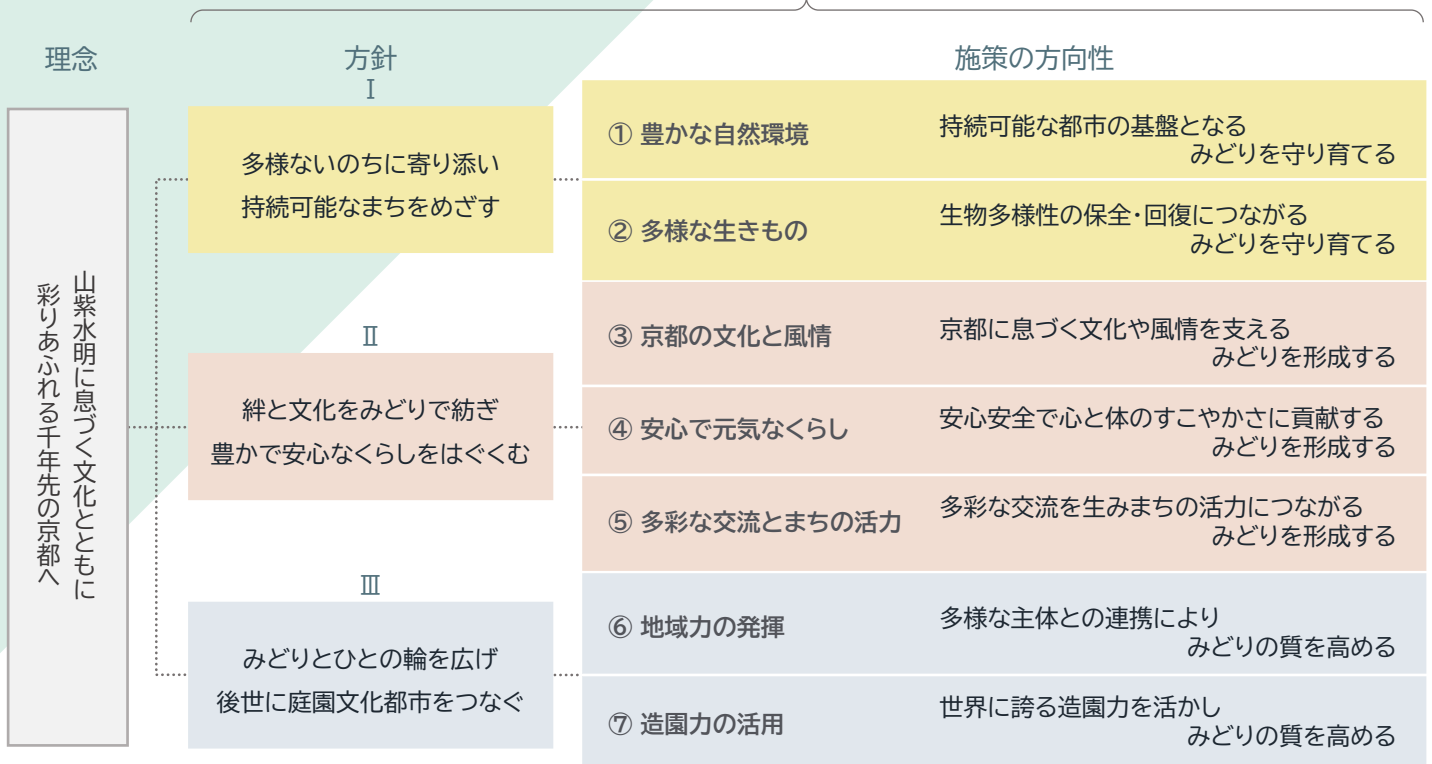
公園の配置については、公園機能の再編等、社会状況の変化に応じた検討を行います。また、公園面積の確保については、長期的に粘り強く取り組みます。
公園施設については、老朽化対策等を進めるとともに、地域と協力した管理運営や利活用を図り、公園の魅力向上に取り組みます。



第6章 方針・施策の方向性

本編p73-80

方針・施策の方向性



計画の体系図

第7章 みどりの取組

本編p81-89

本計画では24のみどりのカテゴリーごとに記載しており、以下はその一部の抜粋です。

山／丘／竹林／草地（自然のみどり）

- ・ 緑豊かな風景や京都らしい歴史的な風土につながる山や山すそのみどりは、法的な規制等により保全します。
- ・ 吉田山、船岡山、雙ヶ岡は、都市における重要なみどりとして、法的な規制等により保全します。
- ・ 緑豊かな風景につながる竹林のみどりは、法的な規制等により保全します。
- ・ 八丁平の湿原は、自然環境調査の実施等により、保全と利用に取り組みます。

林業地／農地（営みのみどり）

- ・ 生態系や環境に配慮した農林業の推進、農地や森林の恵みを活かした京都ならではの文化の継承や魅力の向上、市民と農地や森林の関係性の深まり等の観点を踏まえ、引き続きその保全・活用に取り組みます。

川／池／疏水（水辺のみどり）

- ・ 市民の安心安全の根幹となる治水を前提として、「まちに開かれた水辺、水辺に開かれたまち」へと再構築する、川づくり・水辺づくりに引き続き取り組みます。
- ・ 国指定の天然記念物である深泥池は、調査事業を継続しながら、池の生態系改善に取り組みます。
- ・ 琵琶湖疏水は、施設の維持管理や更新を適切に行い、魅力の向上と情報発信を行います。

公園／街路樹／雨庭／校庭（身近なみどり）

- ・ 市街地における貴重な自然環境を有する公園において、京都本来の生態系や生きものの多様性につながるみどりを保全します。
- ・ 京都特有の歴史や文化に深く関わる公園を保全・活用し、次世代に受け継ぎます。
- ・ 地域の環境やくらしに寄り添う公園づくりを通じて、子育てや学び、地域内の交流を支えます。
- ・ 公園において心身の健康を育めるよう、貴重な癒し、憩い、遊びの機会を創出します。
- ・ 市街地の暑さを和らげ、大気の浄化を促し、快適な空間を生み出す公園をつくります。
- ・ 公園が地域の防災拠点として機能するよう、オープンスペースの確保等に取り組みます。
- ・ 老朽化した施設や樹木を適切に管理し、公園における安心安全を確保します。

おすすめACTIONは、みどりの未来のためにできることの具体例です
楽しみながら、一緒にみどりを
守り育んでいきましょう

| おすすめ ACTION |

- ✓ 「京都一周トレイル」にチャレンジする
- ✓ 清々しい竹林の風景に癒される
- ✓ 宇治川のツバメのねぐらを観察する



- ✓ 京の旬野菜を味わう
- ✓ 農業体験や市民農園に挑戦する
- ✓ 京都市産の材木を使う

- ✓ キャンプ場で川遊びを満喫する
- ✓ 水辺の保全活動に協力する
- ✓ 宝が池(公園)の水辺で憩う
- ✓ 天然記念物・深泥池で生きものを観察する
- ✓ 琵琶湖疏水の沿線を散策する

- ✓ 身近な公園で遊ぶ
- ✓ 公園で地域の交流イベントを開く
- ✓ 運動公園で気持ちよく体を動かす
- ✓ 公園のボランティア活動で地域を支える
- ✓ 寄付を通じて社会貢献をする



- ・ 市民、事業者、大学等、公園を愛する人々の力が活かされた公園づくりに取り組みます。
- ・ 作庭、剪定等、京都の庭園文化の中で培われてきた高い造園技術が活かされた公園づくりに取り組みます。
- ・ 年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しめる公園づくりに取り組みます。
- ・ 街路樹による緑陰等で暑熱環境を緩和し、快適な道路空間を創り出します。
- ・ 街路樹によって、点在する様々なみどりを空間的につなぎ、京都の豊かなみどりのネットワークを支えます。
- ・ 街路樹の美しさと季節感を活かし、くらしの中に京都の美しい風情を生み出します。
- ・ 日々の育成管理、倒木の予防、樹木更新等により、街路樹の安全性と健全性を確保します。
- ・ サクラ、イチョウ等の街路樹は、まちの彩りや活力を増すよう、周辺の環境や風情と調和した整備や更新を行います。
- ・ 市民、事業者、大学等、様々な人々との協力による充実した管理を行い、街路樹を大切に守り育てます。
- ・ 街路樹の育成管理においては、これまで京都の美しい風情と調和したみどりの空間づくり等で培われてきた、高い造園技術を活用します。
- ・ 雨庭の整備により、安心安全なまちや彩りある道路空間の実現に貢献します。
- ・ 事業者等との情報交換や連携により、民有地における雨庭の展開を促進します。

庭園／坪庭／社寺林／名木（文化的なみどり）

- ・ 元離宮二条城は、文化財、世界遺産として守り受け継ぐとともに、活用とおもてなし機能の強化を図ります。
- ・ 緑豊かな風景や京都らしい歴史的な風土につながる社寺のみどりは、法的な規制等により保全します。
- ・ 市民に親しまれる名木は、保存樹制度による指定や支援等を通じて、その保全に取り組みます。

植物園／御苑／御所／離宮／陵墓（特徴的なみどり）

- ・ 京都市では、各管理者と情報交換等を行い、本計画との連携を図ります。

建物の緑化／敷地の緑化（緑化のみどり）

- ・ 建物、敷地の緑化は、一定面積以上の建築物等に対する義務規定により、引き続き実施します。

- ✓ 散歩しながら四季の花を愛でる
- ✓ サクラ並木や秋の紅葉を見に出かける
- ✓ 街路樹のボランティア活動に参加する
- ✓ 雨庭で和の花を鑑賞する
- ✓ 自宅や会社の庭を雨庭にする（地域雨庭）



- ✓ 様々な庭園を訪れる
- ✓ 庭園文化を学び、くらしの中に活かす
- ✓ 社寺林の豊かな空気に触れる
- ✓ 社寺の祭事で伝統に触れる
- ✓ 身近な名木を巡る

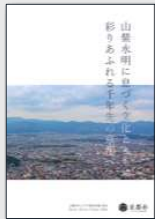
- ✓ 植物園、京都御苑を散策する
- ✓ 御所、離宮、陵墓を訪れる

- ✓ 社屋・工場の屋上や壁面をみどりで彩る
- ✓ 自宅や店舗の敷地にみどりを増やす
- ✓ 緑化の際に京都ゆかりの植物を選ぶ

ご意見は、下記ホームページ内の専用フォームからご提出ください

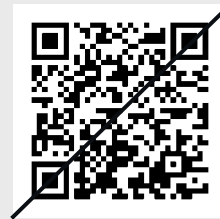
＜提出期限：2026年2月10日（火）必着＞

電子メール、FAX、郵送、持参でもご提出いただけます。
その場合は、以下の「意見記入欄」を適宜お使いください。



次期計画案の全文は、京都市情報館（ホームページ）で公開しています。
下記のURL又は右記の二次元コードからご覧ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/XXXXX.html>



意見記入欄

「～～が良かった」、「～～が気になった」等、
一行のご意見・ご感想からでも
構いませんので、ぜひご投稿ください

意見を送られる方について（該当するものに○をつけてください）

※意見取りまとめの参考としますので、差し支えなければご記入ください。

年齢 （20歳未満・20代・30代・40代・50代・60代・70歳以上）

居住地 （北区・上京区・左京区・中京区・東山区・山科区・下京区・南区・右京区・西京区・伏見区・京都市外）

問合せ先／電子メール、FAX、郵送、持参の提出先

京都市建設局みどり政策推進室 計画担当

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 京都市役所分庁舎3F
TEL：075-222-4114 FAX：075-212-8704 メール：ryokusei@city.kyoto.lg.jp